

議員（村井 保夫）

どうも失礼します。それでは、8番 村井 保夫、一問一答でお願いします。

ふるさと納税についての質問であります。

今年に入り、ふるさと納税返礼品で色々な問題が起こりました。まずは、茨城県筑西市の飲食店営業会社と関連会社である水産加工会社が市のふるさと納税の返礼品だったお節料理の一部を製造、配送できないトラブルを起こし、10億円の負債で破産手続になりました。これは、経営赤字で人材派遣に依存するなど人員が制限される中で起こったと見られています。また、鹿児島県志布志市では、ふるさと納税の寄附者に送った返礼品に賞味期限切れの冷凍麺が少なくとも6件混入していたとの発表がありました。健康被害はないということであります。返礼品は、1万円以上の寄附者に送るハモやアンコウ、麺などの詰め合わせセットの中の冷凍麺に、以前仕入れた破棄していなかった分を誤って入れたということです。この冷凍麺の消費期限が今年の3月だった可能性があるということです。また、宮城県名取市では、ふるさと納税の返礼品として発送した水産加工品セットのシリーズの一部商品について、使用したブリの鮮度不良で頭痛や嘔吐を引き起こす恐れがあるとして、約1,000個を業者が回収したとあります。

そこで、質問します。

多度津町の返礼品は112種類ありますが、賞味期限の残り日数に規定があるのでしょうか。また、どれくらい残したものを返礼品として使用しているのかお答え下さい。

町長（丸尾 幸雄）

村井 保夫議員のふるさと納税返礼品の賞味期限についてのご質問に答弁をさせていただきます。

本町のふるさと納税に対する返礼品は、令和2年2月末現在で合計112品目でございます。議員がご心配されているトラブルが生じないよう、それぞれの返礼品を登録する際にパートナー事業者から聞き取りを行い、賞味期限または消費期限また原材料及び配送方法などの必要な情報をふるさと納税のポータルサイト上にあらかじめ表示し、寄附の受け付けを行っております。

また、議員ご質問の発送時に賞味期限を何日以上残すなどの明確な規定は設けてございませんが、事前に寄附者が返礼品を受け取れない日程及び期間を聞き取り、発送の際にパートナー事業者と連携しながらトラブルが起こらないように対応しております。なお、寄附者の都合によるトラブルを防ぐためにポータルサイト上で寄附者の都合で返礼品が届けられなかった場合、返礼品等の再送はいたしませんという旨を明記し、寄附者の都合により賞味期限

または消費期限を過ぎた場合は返礼品の再送などを行わない対応をしております。

本町がふるさと納税に対する返礼品としているもののうち、賞味期限または消費期限が短い返礼品といたしましては、魚介類で白方牡蠣の消費期限が発送日を含めて4日間、またオリーブハマチや讃岐サーモンの刺身は出荷日より3日程度、加熱調理等は約5日程度などがございます。事業者は、この賞味期限または消費期限の基準に合った返礼品を寄附者へ送付しておりますので、期限の切れた返礼品が寄附者のもとに届くことのないようにしております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

返礼品の中には季節限定商品があると思いますが、インターネットで見た限り、お礼品一覧表の文書の中に季節限定品、例えば白方牡蠣ですが、11月から3月までとか、またハウスピオーネですが、何月頃から送りますとか、そういうような表示がないんですが、送る時はどのようにしているのか、また収穫時期、発送時期、表示の確認をしているのかどうかお伺いします。

政策観光課長（河田 数明）

ただいまの再質問に答弁をさせていただきます。

季節限定品の返礼品につきましては、発送できる期間をポータルサイト等に明記しております。明記した上で寄附を受け付けております。また、発送できる期間前でも寄附ができるように、予約もできるシステムとしております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

有難うございました。

インターネットで見た限りは、寄附しないので、そこまでのところへ行けなかったんかも分かりません。どうも濟いませぬ。有難うございました。

2番目として、19年度のふるさと納税が2億円を超えていますが、返礼品の寄附額が1万円以上、200万円までありますが、その中で人気商品上位をお知らせ下さい。

政策観光課長（河田 数明）

村井 保夫議員の人気返礼品についてのご質問に答弁をさせていただきます。

議員のご質問にありますとおり、今年度の本町へのふるさと納税は2月末現在で寄附件数が1万1,711件、寄附金総額が2億1,005万9,000円となっております。初めて2億円を超えている状況でございます。昨年度は、1年間で寄附

件数が6,250件、寄附金総額が1億2,400万6,000円でしたので、2月末現在で寄附件数が約1.87倍、寄附金総額で約1.69倍となっております。議員ご質問の人気の返礼品につきましては、今年度2月末現在で寄附件数が多い返礼品を3つ上げますと、上乾ちりめん1キログラムが2,233件、純生さぬきうどん10人前が1,280件、「蒼のダイヤ」オリーブオイルセットAが1,269件でございます。また、寄附金総額が大きい返礼品を3つ上げますと、「蒼のダイヤ」オリーブオイルセットBが約2,300万円、上乾ちりめん1キログラムが2,200万円、シャインマスカット二房が1,600万円でございます。なお、昨年度におきましては、寄附件数では上乾ちりめん1キログラムが959件、「蒼のダイヤ」オリーブオイルセットBが816件、「蒼のダイヤ」オリーブオイルセットAが437件でした。また、寄附金総額では、「蒼のダイヤ」オリーブオイルセットBが約1,800万円、上乾ちりめん1キログラムが約1,000万円、讃岐サーモン1尾が約700万円でした。このようなことから、寄附者の方が本町の返礼品を選ぶ傾向といたしましては、魚介類及びオリーブオイル製品の返礼品を選ばれる方が多い状況でございます。以上、答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

寄附件数は1万1,711件、金額は2億1,005万9,000円という本町の寄附があったそうですが、この他に寄附件数が多い都道府県とかが分かる範囲で教えてもらいたいと思います。

政策観光課長（河田 数明）

ただいまの再質問に答弁をさせていただきます。

寄附が多い地区といたしましては、都道府県別では東京都が3,255件で全体の27.4%を占め、神奈川県が1,149件で9.8%、大阪府が1,072件で9.1%と続きます。昨年度につきましても東京都が1,734件で27.7%と最も多く、大阪府が630件で10.1%、神奈川県が625件で10%と続き、同じ傾向でございます。また、エリア別では関東が5,861件で49.8%と最も多く、関西が2,466件で21%、中部が1,498件で12.7%と続きます。昨年度につきましても、関東が3,159件で50.5%、関西が1,413件で22.6%、中部が725件で11.6%と続き、こちらも同じ傾向でございます。

以上、再質問の答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

ふるさと納税に関しては、返礼品の種類によって寄附金額が大いに変わるとは思いますが、多度津町では新しい返礼品の開発は考えているのでしょうか。お知らせ下さい。

政策観光課長（河田 数明）

ただいまの再質問に答弁をさせていただきます。

返礼品の新しく開発等がございますけども、確かに返礼品を増やすことはさらなる寄附の増額に繋がると思っております。新たなる返礼品事業者さんを募ること、また色々産業課とも考えていただいた中で、高校生に新商品の開発等をしていただいております。そういう商品を加えることによって、またさらなる寄附金の増額に努めたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

町長（丸尾 幸雄）

ただいまの政策観光課河田課長の答弁にちょっと補足をさせていただきたいと思っております。

村井 保夫議員さんも農業に従事されておりますので、ちょっとお話を聞いていただきたいと思いますと思うんですが、今、「さぬきのめざめ」、今日の四国新聞にも載っておりますけども「さぬきのめざめ」という特産物があります。それから、他にも色々あるんですけども「おいでまい」とかもあります。そういう香川県の特産物であり、多度津町で生産しているものは多度津町の返礼品としてカウントできますので、そういう中におきましては、今、「シャインマスカット」が入っておりますけども、「シャイン」と同じように「ピオーネ」とか、また昔からの懐かしい、「デラウェア」とかそういうのもありますので、私はその農産物、多度津町の農業振興の中におきましてもそういう農産物をたくさん出していただきたい、そのことは色々私も各農産物に関する部会に出ておりますが、そういう中でもお話をさせていただいております。例えば、ミニトマトにいたしましたら、ミニトマトはケチャップとか、それからジャムですね、そういうのは入ってるんですけども、ミニトマト本体がなかなか入ってきておりません。そういう中におきましては、やはり多度津町の農産物、特産物としてカウントしたいと願っておりますので、村井 保夫議員さん、同じように農業を営んでいるというか農業に精励されてる議員さんにもお願いしたいと思います。よろしくお願いをいたします。

議員（村井 保夫）

ご答弁、有難うございます。

それでは、3つ目の質問に入ります。

寄附金活用方法の中で1番、生活、自然環境の整備に関する事業、2番、保健、福祉を充実する事業、3番目として教育、文化、スポーツに関する事業、4番目、観光、産業の活性化に関する事業、5番目、その他町長が必要とする事業があります。

以上、5項目ありますが、各寄附金額を分かる範囲で教えて下さい。

政策観光課長（河田 数明）

村井 保夫議員の寄附金の活用方法別の寄附金額についてのご質問に答弁をさせていただきます。

今年度2月末現在の活用方法別の寄附金額の内訳につきましては、生活、自然環境の整備に関する事業が4,033万6,000円、保健、福祉を充実する事業が2,518万9,000円、教育、文化、スポーツに関する事業が3,452万9,000円、観光、産業の活性化に関する事業が1,991万3,000円、その他町長が必要と認める事業が9,009万2,000円となっております。その他を除きますと、生活、自然環境の整備に関する事業が全体の2割弱を占め、一番多くなっている状況でございます。なお、この傾向は、昨年度も同様となっております。2割弱の方が生活、自然環境の整備に関する事業を選ばれております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

この5項目の他に、高齢者の運転免許返納が多くなってきた中で、コミュニティバスの運行開始費用、また林求馬邸、合田邸の維持管理費用とかの新しい事業は考えてないのですか、お答え下さい。

政策観光課長（河田 数明）

ただいまの再質問に答弁をさせていただきます。

議員のおっしゃられるように、寄附により何ができたかなどを示す事業を新たに設けることは、さらなる寄附の増額に繋がるものと考えております。今後、財政部局などと協議を行ってまいりたいと思っております。

寄附をいただいた事業の成果を示すことで、多度津町に興味を持ってもらい、関係人口の増加にも繋げたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

有難うございます。

これからは、多度津が困ってる事業、そういう項目も入れていって、寄附金の増額を図っていく必要もあるのかと思います。また、その中で、その他町長が必要とする事業が9,009万2,000円ほどありますが、どのような事業に使われたのか教えてもらえますか。

総務課長（岡部 登）

ただいまの村井議員の再質問にお答えいたします。

その他町長が必要と認める事業でございますが、個別の事業、例えば道路を造りましたとかそういった事業には国の補助金でありますとか、それから起債ですね、借金をすることが可能でありますので、そういったものについてはなるべくそういったものをいただくということで、一般財源の割合の高い

事業について振り分けていくという風なことを心がけております。ですので、具体的にこの事業という風にしておる訳ではなくて、例えば総務課でございますと、交通安全対策費、そういったもの、そういった事業に充てております。

それから防災費、それから政策観光課の方でございますと企画管理費、それから建設課の方でも交通安全施策整備費、色んなカーブミラーとかそういったもの、具体的にこれというんではないんですが、そういった事業に充当させていただいております。都市計画管理費、それから消防で申しますと常備消防活動費、それから教育課の方で言うと公民館管理運営費、同じく教育課の方では図書館管理運営費、そういったものに充当させていただいております。

以上でございます。

町長（丸尾 幸雄）

今、私どもが行っている事業、大きな事業があります。それは、多度津の地方創生事業においてでありますけども、人口減少対策、地方創生ですね、多度津の歴史と伝統と文化を生かした魅力のあるまちづくりと人づくりを行っていくことで、移住・定住、そして交流人口を増やしていこうというその目的の中で、例えば今丸亀市はお城が崩落しました。そのことに対する修理にふるさと納税も使うということになっております。

私どもは崩落はしてませんが、すると困りますので、そのために今、多度津の北前船寄港地としての日本遺産に登録をされた。その中で、今、合田邸というのもその日本遺産に登録をされております。先ほど、村井 保夫議員さんおっしゃった林求馬邸もそうです。そのような多度津町の歴史を今からも生かしていくような、そのようなことにふるさと納税を使っていこうとは思っております。それは、観光とか、それから商業とかそういうことにも関係をしてきますが、また新たな分野におきまして、今、私どもが行っていることに対しての返礼品の活用を考えております。

答弁とさせていただきます。

議員（村井 保夫）

有難うございました。

一番寄附金額の多いのは、この5番目のその他町長が必要とする事業であります。そういう中で、有意義に多度津町の発展を願えるような使用方法に大変これからも使ってもらいたいと思います。

それで、これからも新しいふるさと納税の返礼品開発をして、選択品目を増やすこと、また新しい事業を増やすことによって、これからのふるさと納税の寄附金額が5億円、10億円となっていくことを願って、私の一般質問を終

わかります。有難うございます。